



学校教育目標

「体の命」と「心の命」を守り育むことを土台に

「児童生徒の一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、生きる力を育み、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成。」
を目指します。

【分校目標】

- 生徒の教育的ニーズに応じた教育の充実
- 自立と社会参加に向けた力をつける
- 地域の中で役割を果たそうとする意識・意欲の育成

★すべての矢印が学校教育目標に向かっていきます。

目指す生徒像

○自ら考え学ぶ人

◎授業の充実

- 継続性・系統性・日常性のある授業づくり
- 将来の見通しをもったキャリア教育の充実

◎体験的活動と ICT の有効な活用

- 生徒のニーズ・実態に応じた活用
- 実態や発達段階に応じた情報活用能力や情報モラルの育成

○心ゆたかな人

◎思いやりの心と協力できる態度の育成

- いじめ対策と人権教育
- 自己理解と他者理解の指導
- 交流及び共同学習の充実

◎生徒の主体性を生かした生徒指導

- 対話を重視した児童生徒の実態把握
- 自校の課題と対策に応じた指導(長欠・SNS 等)

○じょうぶな人

◎日常生活の中で、力を発揮するための基礎

- 体力の向上、心身の健康保持に関する指導の充実。
- 教科横断的な指導

◎命・性・健康に関する教育の充実

- 家庭・医療等との連携
- 養護教諭・外部関係機関との連携

◎保護者・地域と連携した取組

★この連携が学校づくりを支えています。

◎共生社会の実現に向けた取組

- 地域に向けた特別支援教育の理解への発信
- 社会参加に向けた地域との協働
- 勿来高校との共生社会に向けた取組
- サービス担当者会議・支援会議

◎生徒の自立と社会参加に向けて、家庭と学校が一体となった活動の推進

- 保護者と教職員が協力・連携した活動の継続
- 保護者や職員、学校評議員会等が一体になった生徒の学びの充実